

中央地域包括支援センターだより 10月号



認知症サポーターの輪が広がっています。

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の割合は2012(平成24)年に高齢者の約7人に1人でしたが、2025(平成37)年には約5人に1になると推測されています。

平成27年3月31日の花巻市の総人口が98,241人、高齢化率が31.26%ですが、介護保険認定申請者における認知症高齢者は3,501人となっています。

花巻市でも認知症高齢者の増加が見込まれることから、「認知症になっても、住み慣れた環境で暮らし続けることができる社会づくり」が必要になってくることを踏まえ、市は認知症に対する支援体制の強化を図るため花巻中央地域包括支援センターに「認知症地域支援推進員」を2名配置し、認知症サポーター養成講座の開催や事業周知活動に取り組んでいます。

花巻市の認知症サポーター数は、平成27年9月30日現在で5,014人いますが、今年度のサポーター養成講座を受けられた方が592人となり、認知症サポーターの輪が広がっています。

認知症サポーターは、認知症サポーター養成講座を受講することによって登録されます。

この養成講座の受講時間は、60分～90分となります。地域や職場で認知症について学んでみませんか。

【問合せ先】 花巻中央地域包括支援センター内

電話 24-7246

〔担当〕 認知症地域支援推進員

矢野、伊藤



認知症サポーター
養成講座の様子



セブンイレブン本館店従業員と
地域住民と合同で講座を開催



キャラバンメイトの情報交換会



認知症に関するビデオで研修



孫世代による講座で、先生が寸劇に参加しました。(太田小学校)



認知症サポーター養成講座参加者が認知症の方と店員に扮して寸劇



包括職員による認知症寸劇です